長久手市行政評価票

事業番号	116	事業の名称	学校連携事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 学校図書館と連携を行い、子どもの読書活動において生きる力を培うため図書館の立場から援助を行う。 (概要) 司書資格を持つ中央図書館嘱託職員2名を市内小中学校8校へ派遣し、児童生徒の読書支援を行った(1名につき4校を担当し、火曜日から金曜日までで1日1校を巡回)。 本の展示、読み聞かせ、ストーリーテリングなどのおはなし会を行うとともに、読書案内、読書相談、館内レイアウト調整、選書、学校図書ボランティアとの連携等を行った。 また、団体貸出として中央図書館から各小中学校へ図書の貸し出しを行った。	他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣では、日進市立図書館、瀬戸市立図書館にて実施。

事業期間	事業開始年度	平成22年度	終了(予定)年度	—
事業の対象(だれ、何に対して)	市内小中学校(の児童生徒)			
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	中央図書館の嘱託職員と学校の司書教諭が協働で連携事業を行い、子どもの読書活動を推進する。			

総事業費		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
総事業費(単位:千円)		9,812	9,362	4,812	5,370	7,714
うち	一般財源	4,812	4,362	4,812	5,370	
	国費・県費	5,000	5,000			
	地方債					
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

	事業を構成する事務事業	目的:対象(だれ、何に対して)	目的:手段(いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	目的:意図(対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果:成果指標	成果:H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値設定の根拠	事業費(単位:千円):H23予算 H24予算 H25予算	事業費:H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳(単位:千円)	評価:評価 成果 事業費	評価の説明
①	おはなし会	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●● 読み聞かせ(ブックトーク、ストーリーテリングを含む)などのおはなし会、597回を行うことで	子どもの読書活動を推進する。	全小中学校にて実施	おはなし会実施回数	597 630 670	回	前年実績(H23年度)からの増加	3,812 3,812 6,714	3,812 4,121		A 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度北中学校1校、新設のため増加とした。 H25予算については、H24年度より1名嘱託職員増加、及び嘱託職員の報酬が上がるため、増加となる。
②	団体貸出	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●● 中央図書館の蔵書を各学校(計8校)へ1学年につき、180日間、500冊の団体貸出を行うことで	子どもの読書活動を推進する。	年間団体貸出冊数10,268冊	団体貸出実施校数	3 6 8	校	前年実績(H23年度)からの増加	6,000 1,000 1,000	5,550 1,249		A 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度北中学校1校、新設のため増加とした。
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容

H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要